



No. 387号

2024年3月12日発行

沼津市手をつなぐ育成会

〒410-0822 沼津市下香貫宮脇323-4

尾藤 正弘 (会長宅)

TEL: 933-3922 FAX: 933-7350

尾藤携帯電話: 090-8543-2341

尾藤E-mail: bito3boy@yahoo.co.jp

沼津市手をつなぐ育成会・会報 2024年3月号



皆さん、1月19日にNHK Eテレで放送されました「能登半島地震～被災地の障がい者はいま～」を観られましたか？バリバラ（みんなのためのバリアフリー・バラエティー）では発災直後から、被災地にいる障がいのある人たちの状況取材されていきました。穴水町にある知的障がいのある人たちの入所施設では、建物が大きく損壊、断水も続くなか、必要な支援が届かず孤立する状況が続いていきました。輪島市にある障がい者施設の利用者は、衛生環境の悪化などで現地にとどまることが難しくなり、発災から2週間後、市外への避難を余儀なくされていました。現在でも断水が続く地域が多くあることを報道で知り、水（トイレを含む）の重要性を改めて認識した次第です。

「輝望会」40周年記念式典

3月2日（土）沼津市民文化センター小ホールにて、『社会福祉法人輝望会40周年記念式典』が盛会に開催されました。越川理事長の主催者挨拶、その後来賓挨拶として静岡県障害



者支援局長、沼津市副市長、元輝望会後援会会長及び育成会を代表して私が挨拶させていただきました。

その中で、昭和49年に沼津市や多くの市民の支援を得て無認可小規模授産所が設立、10年間、障がい者の社会参加のため苦労を重ねて運営され、昭和59年に通所更生施設として「沼津のぞみの園」が法人化された経緯を

話させていただきました。資金や場所もないのに始めた無謀さ（記念誌からの引用）、当時の皆さまは筆舌に尽くしがたい状況であったかと推察致しますと、只々感謝しかありません。輝望会・池谷常務の式典後のブログには、《今回、招待状を送付するにあたり名簿を確認した。私の知っている名前を次から次へと削除していかざるを得なかった。40年経過することは、大切な方々を失うということ。ここにいて欲しいと思った。何故いないのか。一緒に40歳（50歳）の誕生祝いをしたいのに。輝望会は、障がいのある子、そしてその親御さんたちに少しは頼りにされているのでしょうか？こんな話をしたかった。》の一文にとても胸が熱くなりました。

さて、今では当たり前にある諸々の福祉制度ですが、先輩方の力強い行動で行政を動かし、現在があるわけです。その先人たちからのバトンを、しっかりと後世に引き継いでいくことが私の役目であると認識した式典でもありました。

会長 尾藤正弘

以下、『設立40周年記念誌』に寄稿した全文を掲載させていただきます。

～40周年、おめでとうございます！～

輝望会と育成会は車の両輪です。どちらが欠けてもいけない存在、会員が安心していきいきと生活していくため、今日までお互い努力してまいりました。私は湯浅前会長から平成30年5月に会長を引継ぎましたが、歴代会長をはじめとする役員の皆さまのご尽力には、ただただ感謝です。育成会が発足した昭和31年当時は「沼津市手をつなぐ親の会」でしたが、今のような制度上の選択肢はまったくない時代と伺っております。当時の親御さんは、そこに針穴をあけ、我が子のためにあらゆる要望を展開し、市や県の施策にねじ込んでいく魂の活動・・・先輩方の行動力には感服です。今の私の会長としての立場で、当該施設整備や就労環境を向上させてくださいと要望されましても実現は不可能です。発足当時とは時代やニーズもだいぶ様変わりしました。今、会長として私にできることは、会員個々に寄り添う育成会を目指すことです。

さて、40年の歴史の中で、発足当時の親御さんとお子さんは、今では8050問題と言われる環境です。皆さまへの恩返しは、しっかり「親なきあと」に全力で取り組むことだと思っています。育成会は、昨年度に「グループホーム見学会」を輝望会の協力の下で実施、多くの皆さまの参加をいただきました。親が亡くなった後の我が子の将来（住む家、仕事、家族との関係性など）に不安を抱いている会員に、しっかりと輝望会と育成会が寄り添っていきたいと思います。

最後になりますが、育成会の入会申込書の一文（抜粋）に『沼津市手をつなぐ育成会は、知的障がい児・者の福祉、教育、労働、医療などの制度や施策の向上を求める、最強の権利擁護団体として今後も活動していきます』とあります。更なる広義の福祉の向上を追求し、育成会は魂の活動を今後も展開してまいります。今後も共に歩んでいきましょう・・・40周年、誠におめでとうございます！

「生活サポート総合補償制度」(続編)

先日、保険代理店(ジェイアイシーセントラル(株)静岡営業所)から説明を受けた際、補償プランBとCにある「弁護士費用等補償」は心強いと思いました。被保険者が被害者になった場合でも利用可とのこと。例を挙げますと、令和4年5月の会報で注意喚起しました「ある団体による強引な勧誘活動」などの際の金銭等被害を受けた場合にも利用できるとのことでした(幸いなことに、その時は金銭等の被害報告は受けておりません)。尚、当会は保険に詳しい訳ではありませんので、資料請求時等の際に専門家からの十分な説明を受けてください。

* 育成会の会員であれば『加入』できます!



保険加入に関する問合せ先・・・静岡県知的障害児者生活サポート協会
〒420-0856 静岡市葵区駿府町1番70号 シズウエル内
TEL: 054-260-6713 FAX: 054-254-6396

《改定》

『発達障がい児者』の方も4月1日補償開始分から加入できるように改定されました! 加入いただける方は、発達障がい児者として、以下の(1)~(4)のいずれかに該当される方です。この機会に会員になっていただき、当該補償制度を活用してください。

- (1) 特別支援学校・学級/通級指導教室に通っている方、在籍していたことがある方
- (2) 【精神保健福祉手帳】をお持ちの方
- (3) 【障害福祉サービス受給者証】交付がある方
- (4) 医師などから「発達障がい」と診断されている方

グループホーム見学会(第3弾)満員御礼!

3月22日(金)開催の「グループホーム見学会」は定員に達しました。今回の施設見学先は、2月にオープンした施設や親御さんが設置者である施設などを選びました。特に親御さんの中には自宅を改修して、と考えている方も一定数いるかと存じます。しっかりと学べる環境を育成会として提供していきます。令和6年度も実施致しますので、日程調整が難しかった方、次回(第4弾)に期待してください。

富士見学園の新施設が竣工

いよいよ富士見学園の新施設が「あしたか太陽の丘」敷地内(沼津市宮本5番地の2)で4月1日より稼働致します。富士市からの移転施設で、鉄骨造り2階建ての居室が全て個室とのこと。新たに短期入所型サービスを提供、同法人が運営するグループホームや支援センターと連携するそうです。

「会員」継続及び「賛助会員」のお願い

● 手をつなぐ親の会（現在の「沼津市手をつなぐ育成会」）の初期のあゆみ

東京に住む3人のお母さんが、全国の仲間の親たちに『知的障がい』のあるわが子の幸せを求めて『手をつなぐ』ことを呼びかけたのが、会ができたきっかけです。その呼びかけに答えて親や関係者が立ち上がり、47都道府県すべてに「手をつなぐ親の会」が結成され、その連合体が「全日本手をつなぐ親の会」（現在の「全国手をつなぐ育成会連合会」）です。沼津市においては、昭和31年（1956年）6月に第四小学校に特殊学級（現在の「育成学級」）が、そして、昭和33年4月には第四中学校にも開設されました。

当時の担当の先生方の熱心な指導により親の会結成にご尽力いただき、昭和31年には趣意書を作り「手をつなぐ親の会」が発足しました。昭和36年には会則もでき、「沼津市手をつなぐ親の会」として社会的な地位を確立することができました。また、昭和34年には金岡小学校にも特殊学級が開設され、徐々に親の会組織が充実強化されてきました。昭和47年には「手をつなぐ親の会」が中心となり養護学校設立運動を始め、当時の会員の努力の結果、沼津に静岡県立沼津養護学校（現在の「静岡県立沼津特別支援学校」）を誘致することが出来ました。昭和49年には、沼津市や多くの市民の支援を得て無認可小規模授産所を設立、10年間、障がい者の社会参加のため苦労を重ねて運営し、昭和59年には通所更生施設として「沼津のぞみの園」が法人化されました。

● 活動内容

「沼津市手をつなぐ育成会」は、知的障がい児・者の福祉、教育、労働、医療などの制度や施策の向上を求める、最強の権利擁護団体として活動しています。

● お願い

会員への情報提供や密度の濃い活動をするため、支援学級や支援学校卒業後も引き続きの会員継続をお願い致します。また、支援者の皆さまには当会を支える特別賛助会員、賛助会員としてご支援、ご協力を賜りますよう、切にお願い申し上げます。

● 会費

令和6年度の会費、特別賛助会費・賛助会費（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

- ◆会員 4,200円
- ◆特別賛助会員様 1口 10,000円
- ◆賛助会員様 1口 2,000円（可能であれば2口以上でお願い致します）

※ 卒業後の継続又は新規にお申込みいただける場合、資料送付先住所・お名前などをご記入の上、事務局・尾藤までFAX（055-933-7350）いただくと幸いです。尚、ご不明な点などがございましたら、遠慮なく事務局までご連絡下さい。

事務局：〒410-0822

沼津市下香貫宮脇323-4 尾藤正弘

携帯：090-8543-2341

情 報 提 供

1、「掛川市手をつなぐ育成会」から

内容 : 「世界ダウン症の日、掛川城ライトアップ」
日時 : 3月21日(木)午後5時45分から点灯式(集合場所は本丸広場)
問合せ : 会長・高木敏男さん(090-3939-9363)

2、2024年度『手をつなぐ』表紙絵募集

内容 : 障がいのある方が描いた作品であれば、どなたでも応募できるそうです。
《用紙》サイズはB5～A4でお願い致します。
《画材》蛍光ペン、金銀色、立体的な塗料等は用いないでください。
記入事項 : 作品の裏面に、名前(ふりがな)、年齢、住所、電話番号、育成会名、
作品タイトルをご記入ください。
応募先 : 〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-17-6 第三和幸ビル2C
(郵送) 全国手をつなぐ育成会連合会 表紙絵募集係
採否 : 表紙絵に採用された方にのみ連絡するそうです。

3、育成会フォーラム・行政説明会をオンライン配信

※申込は事務局まで!後日、「ウェブページアドレス」
と「パスワード」及び「資料」を提供致します!

専用サイトで視聴!

今年度の育成会フォーラムでは、本年4月に迫った障害者総合支援法・児童福祉法の法改正及び報酬改定をテーマに、ポイント解説とシンポジウムをお届けします。行政説明では障害児者施策や特別支援教育に関する国の取組みを紹介しながら、知的障害児者福祉の方向性を一緒に考える時間にしたいとのことです。

視聴期間 : 3月下旬～5月12日(日)

内容 : ★ 障害者総合支援法・児童福祉法改正及び報酬改定のポイント解説
講師 : (一社)全国手をつなぐ育成会連合会 常務理事 又村あおい
★ パネルディスカッション…「障害者総合支援法・児童福祉法の改正と報酬改定を踏まえた今後の知的障害者福祉のあり方(仮)」
進行 : (一社)全国手をつなぐ育成会連合会 常務理事 又村あおい
登壇 : 植草学園大学副学長 野澤和弘氏、
全育連政策センター委員長 高木誠一氏 他
★ 文科省・厚労省・こども家庭庁からの行政説明

参加費 : 育成会会員は無料(育成会フォーラム・行政説明会の視聴及び資料を含む)

お知らせ

1、本人部会「ふれあい交流会」

日時 : 3月17日(日)、12:00~15:00

* 昼食会場は3階で12:00~

* 交流会は4階で13:00~

会場 : サンウェルぬまづ3・4階

内容 : エミー・タケウチ先生による「音楽で楽しもう！」

申込み: 事務局(090-8543-2341)又はFAX(055-933-7350)



2、けん玉体験(会員企画)

日時 : 3月21日(木) 13:30~14:30

会場 : のぞみの園

内容 : 日本けん玉協会静岡県支部所属のパフォーマーによる『けん玉ショー』と『けん玉体験』

※ 昨年度は『ポッチャ』を「ビーンズ」で実施致しました。利用者さんの中には会員でない方もいますが、勧誘活動の一環として体験いただき、楽しんでください!

その他: 会員のいる他の施設でも『けん玉』や『ポッチャ』を体験したい場合、遠慮なく事務局(090-8543-2341)までご連絡ください。

3、手をつなぐ育成会定期総会

日程 : 5月26日(日) 9:45~12:30(予定)

会場 : サンウェルぬまづ2階大会議室

内容 : 議事、表彰状・感謝状授与

* 詳細は、4月号の会報と一緒に配布致します。

* 記念講演は、共同通信社特別報道室・編集委員の市川 亨氏です。

講演内容ですが、『知的障害者の恋愛・結婚・育児』(仮題)を予定しております。



訃報: のぞみの里の杉本仁さんのお母様、容子様のご逝去されました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

知的障がい者相談日: 3月17日(日) 10:00~12:00 サンウェルぬまづ3階

理事会	4月9日(火)	19:00~	サンウェルぬまづ 3階可動仕切り会議室
会報印刷	4月8日(月)	13:00~	" 3階障がい者活動交流室
事務局会	3月26日(火)	19:00~	サンウェルぬまづ 3階可動仕切り会議室